

---

# なぜバードストライクはオジロワシばかり？ —オジロワシとオオワシの分布特性，飛行特性の比較—

○植田睦之<sup>1</sup>・福田佳弘<sup>2</sup>・守屋年史<sup>1</sup>・中川元<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>バードリサーチ, <sup>2</sup>知床海鳥研究会, <sup>3</sup>知床博物館)

---

温暖化，資源枯渇等の問題から再生可能エネルギーへの転換が不可欠な状況となっている。そこで，国は平成22年までに300万kW相当を導入しようとする目標をたて，各地で風力発電所の建設が進められている。反面，風車に鳥が衝突するバードストライクの問題も生じており，特に北海道でのオジロワシの衝突が問題となっている。オオワシはオジロワシと同様の生態的特性を持つが，現在までバードストライクによる死亡は確認されていない。そこで，オジロワシとオオワシの生態的な特性を比較し，この違いの原因について検討した。なお，本発表は，環境省の「渡り集結地衝突影響分析業務」で収集/解析した資料およびその追加解析をまとめたものである。

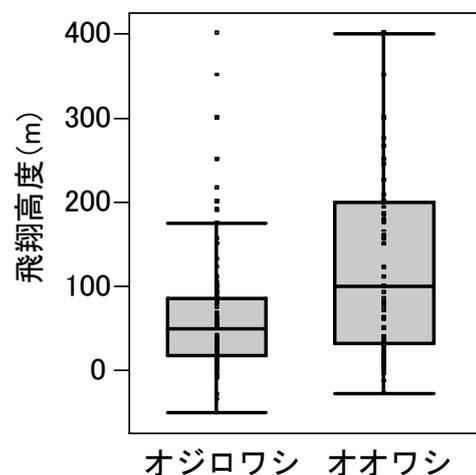
## ○両種の分布の違い

オオワシの北海道での越冬数が1450～1850羽、オジロワシが700～900羽（合同調査グループ2006～2008年の調査データより）とオオワシの方が越冬数は多い。しかし風車が多く設置されている道北の海岸部に限って比較すると，オジロワシの方がオオワシより多かった。

## ○両種の飛行特性

個体の時間あたりの飛行頻度を比較すると，オジロワシの方が頻繁に飛ぶことがわかった。また，飛翔高度をみると，オジロワシの方が低く，バードストライクの危険性の高い高度を飛ぶ頻度が高かった。

以上のような生態的特性により，オオワシはオジロワシに比べてバードストライクの危険性が低く，これが，これまでの事故がオジロワシに偏っている原因の1つだと考えられる。



オジロワシとオオワシの飛翔高度の比較